

第1学年 英語科学習指導案

令和4年12月19日(月) 3校時 11:00~11:50

中学校 1年 1組 名

指導者

1 学校で育てたい資質・能力

教科において、学ぶ知識及び技能をしっかりと習得する。また、教科と関連した社会的な出来事(事象)についても、学んだ知識を踏まえ、さらに深める習慣や力を身につける。

2 単元の概要

単元名	Lesson5 School Life in Two Countries
内容のまとめ	第1学年
単元の目標	ビデオ通話などで、校内で現在起きていることや友だちの様子などを、簡単な語句や文を用いて、即興で話す事ができる。
働かせる見方・考え方	【単元の目標】にある即興性に着目し、Lesson5まで続けてきた帯活動でのペアトークの即興的なやり取りを、本単元の学習事項である「現在進行形」を用いて、状況を即興的に説明する。

3 単元について

(1) 児童生徒観

本学級を対象にアンケートを取った(9月)。「英語の授業は楽しいか」の問いに対して、全員が肯定的に答えた事から、英語の学習に対する抵抗はないと考える。そこで「英語で1番身につけたい力は何か」「英語で今の自分に一番足りない力は何か」との問いに対し、生徒は「人と話す力」や「人に伝える力」など、対人で使う力を必要と感じており、同時にその力が足りていないと感じている事が分かった。

質問事項	人と話す力 (会話)	人に伝える力 (スピーチ)	聞く力	書く力	読む力
英語で1番身につけたい力は何か	48.5%	15.2%	0%	24.2%	9.1%
英語で今の自分に一番足りない力は何か	33.3%	27.3%	3.0%	33.3%	0%

「英語の授業で楽しいことは何か」の質問(自由回答)に対して「ペア学習(2)、友だちのスピーチを聞く(1)、友だちと話す(1)、グループ学習(2)」との答えから、実際に英語を使ったり、学び合ったりする共同学習が好きな事も伺える。

これらのアンケートから、本学級の生徒達には英語を実際に使う機会を多く与える事が自信につながると考え、ペアで質問に対して応答例のあるQ&Aからスタートし、自分の事に置き換えて自由に表現する取組みを続けてきた。本単元では、これまでのQ&Aのような参考例のある短い英文のやり取りから、即興的にまとまった英文を伝える力を育成したいと考える。

(2) 教材観

本単元は、日本にいるアヤと、オーストラリアにいるエマがビデオ電話を使ってお互いの学校の状況について紹介しあう内容である。ビデオ電話という生徒にとって想像しやすいシチュエーションで、本単元の文法事項である「現在進行形」がどのような場面で使える表現なのか、生徒にも理解しやすい。また、本教材を通してオーストラリアや他国の学校文化や時差についても生徒に興味を持たせることができる。

文法事項である「現在進行形」は、Lesson3の三単現、Lesson4の過去形と動詞の変化を学んできているので、生徒は動詞が変化することは抵抗なく取り組めることが考えられる。だが、今までbe動詞と一般動詞と一緒に使わないと指導してきているので、be動詞+動詞ingの組み合わせを意識して指導していく。また、日本語で表現すると現在進行形(Ken is playing tennis.)も、現在形(Ken plays tennis.)も「ケンは何テニスをしているよ」と表現することがあるため、後に混乱しないためにも、この2つの表現の違いを押さえるよう努めていく。

(3) 指導観

本単元は、中学校学習指導要領解説外国語編「2内容〔思考力、判断力、表現力等〕(2)日常的な話題や社会的な話題

について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。」に当てはまり、得られた情報の中から、情報を選択し、既習事項のどの表現が活用できるか考え用いる力が求められる。

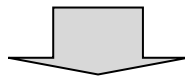
「目的や場面、状況等」を理解し、それに合った表現を使う事で「思考力、判断力、表現力等」の育成が期待できることから、本単元の学習に合った「目的・場面・状況」の工夫をすることで、生徒がコミュニケーションを行う相手やその環境に合った適切な表現を使おうと試行錯誤する機会を与え、その過程において適切なフィードバックを与えることを繰り返す中で、生徒の「思考力、判断力、表現力」を培いたい。

4 単元の評価規準

知識・技能【知技】	思考・判断・表現【思判表】	主体的に学習に取り組む態度【主体的態度】
<p>話すこと〔発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在進行形の文の特徴や決まりを理解している。 今している事について、現在進行形の文を用いて話す技能を見に付けている。 <p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 今している現在進行形の文の特徴や決まりを理解している。 今していることについて、現在進行形の文を用いて正しく書く技能を見に付けている。 	<p>話すこと〔発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の様子をビデオ通話などで知らせるために、昼休みの状況などについて、即興で話している。 	<p>話すこと〔発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の様子をビデオ通話などで知らせるために、昼休みの状況などについて、即興で話そうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全12時間）

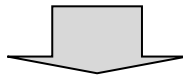
前単元	Lesson4 Our Summer Stories
-----	----------------------------



【・】指導に生かす評価、【○】記録に残す評価

時間	学習活動と児童生徒の反応(◆)	学習を支える教師の働きかけ(□)	【評価項目】(評価方法) <他教科>
1	<p>教科書内容理解①： オーストラリアの学校の様子を聞き取ったり、読み取ったりすることができる ◆オーストラリアは学校におやつタイムがあったりする。小学校でなんとなく ing 使ったけどどうだっけ？</p>	<p>□教科書教材を通して、オーストラリアなど、違う国の学校生活に興味を持たせる。 □教科書に出てくる表現から、現在進行形 (ing) の形のルールに気づかせる。</p>	<p>【・思判表】 ワークシート (本文内容理解) 活動観察</p>
2	<p>文法①： 「～しているところ」とう現在進行形のルール (be 動詞+動詞 ing) に気づく事ができる。 ◆ing は「今」の表現ができる。</p>	<p>□ing の付け方理解させる。 □ing を使う場面は「今行われているとき」である事に留意させる。</p>	<p>【・知技】 ワークシート (ペアトーク) 活動観察</p>
3	<p>文法②： 現在進行形の否定文、疑問文のルールが分かる。 ◆be 動詞のルールに気をつけよう。友だちとの活動は楽しかった。</p>	<p>□be 動詞のルールにより、否定文・疑問文ができる事を確認。be 動詞のルールを今一度確認する。</p>	<p>【・知技】 ワークシート 活動観察</p>
4	<p>帯活動： ペアトーク (イラストで行われていることを説明し合う) 教科書内容理解②： 日本の教室の様子を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。 ◆難しい単語が増えてきた。教科書の内容がだんだんわかってきた。</p>	<p>□ペアを入れ替えることで、生徒に多様な表現に触れさせる。 □終わるごとに、全体で難しい表現をどう言えばいいのか確認することで、慣れさせていく。 □場面の確認 (ビデオ通話)。アヤの学校で今行われていることである事を理解させる。</p>	<p>【・知技・思判表・主体的】 ペアトーク 活動観察 【・知技】 ワークシート (本文内容理解) 活動観察</p>
5	<p>文法③： What を使って、今何をしているかたずねたり、答えたりすることができる。 ◆現在形と現在進行形の違いが分かってきた。</p>	<p>□What+疑問文の形である事を確認 □doing の意味と使い方に留意させる</p>	<p>【・知技】 Notebook 活動観察</p>
6	<p>帯活動： ペアトーク (イラストで行われていることを説明し合う) 教科書内容理解③： 教科書にある教室の様子を友だちに伝えることができる。</p>	<p>□写真の様子を説明する。同じ写真に何度も挑戦することで、内容の深みが増す。また、ペアを変えることで、多様な表現を学ぶ。 □中間で難しい表現やこの場面をまとめる表現などを考えさせる事でまとまりのある文へと仕上げていく。</p>	<p>【・知技・思判表・主体的】 ペアトーク 活動観察 ワークシート</p>

	◆教科書のイラストについて紹介することができた。でも、自分たちの事になると難しい。	□最後に書く作業で仕上げる。	
7	帯活動： be 動詞復習 ing の付け方 単元まとめ①： 帯活動ペアトーク（イラストで行われていることを説明し合う）	□初見の内容を「相手に伝える」「相手の表現を聞く」事で、思考力・判断力・表現力の総合的な力の育成を図る。 □初見の内容なので、上手く表現できなかった事を皆で振り返る事で、自分を振り返りどうすればできるようになるか工夫する場面としていく。	【・知技・思判表・主体的】 ペアトーク 活動観察
8	単元まとめ②： ペアトークからの書く活動 Notebook ◆だんだん言えるようになってきたが、書くとなかなか。単語がわかるとさらに簡単にかけるのにな。	□前時までたくさん話す活動をしたので、本時は落ち着いて「話したことを書く」活動に取り組む。書く事で、正確性へとつながる。 □書けない生徒の為に、語順を黒板に板書する。	【・知技・思判表】 ペアトーク ワークシート 活動観察
9	単元まとめ③： スピーキングテスト ◆もうちょっと言えたのに緊張した。やっぱり単語が分からなかった。	□テストと銘打って1対1で話す場を設定することで、生徒は緊張感と、どうにかして良い点を取りたいという工夫が生まれてくる。そこで、できなかった事を見直す事で、「主体的な学び」につなげていく。	【・知技・思判表・主体的】 活動観察 ループリック
10	単元テスト	□テスト採点後の振り返りをしっかりと行う	【○知技 ○思判表】 単元テスト リスニングテスト



後単元	Lesson5 Lunch in Chinatown.
-----	-----------------------------

6 単元に関する『ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度』

ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度	関連	内容
① 批判的に考える力（批） 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力		・相手を意識したコミュニケーションとなるよう、礼節も気持ちを持って取り組む。 (コ) ・沖縄の行事や学校行事など、自分の身近な文化に興味を持ち、相手に分かるように説明する。また、その際は自分の感想なども添えることで、自分とその文化のつながりを意識する。(つ)
② 未来像を予測して計画を立てる力（未） 過去や現在に基づき、あるべき未来（ビジョン）を予想・予測・期待し、それらを他者と共有しながら、物事を計画する力		
③ 多面的・総合的に考える力（多） 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがりを理解しそれらを多面的・総合的に考える力		
④ コミュニケーションを行う力（コ） 自分の気持ちを伝えると共に、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力	○	
⑤ 他者と協力する態度（他） 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感すると共に他者と協力・協同して物事を進めようとする態度		
⑥ つながりを尊重する態度（つ） 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり、関わりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度	◎	
⑦ 進んで参加する態度（進） 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を踏まえた上で、物事に自主的・主体的に参加使用とする態度		

7 本時の学習指導について

(1) 目標

「目的・場面・状況」が明確な言語活動に取り組む事で、生徒の表現したい意欲が高まり、主体的な活動となる。

(2) 授業仮説

適切な「目的・場面・状況」のある言語活動を通して、自分で得た情報をどのように伝えるか試行錯誤することで、「思考力・判断力・表現力等」の育成が期待できるだろう。また、ペア学習と全体学習を交互に行う事で、他者の表現から自分を振り返り、よりよい表現をしようとする自己調整をしようとする態度が見られるだろう。

(3) 展開 (第7時)

	学習活動	教師の働きかけ (□) 予想される児童生徒の反応 (◆)	評価規準 【評価項目】(評価方法)
導入 (10分)	1 帯活動① ・be 動詞の歌 ・ing の付け方 2 帯活動② ・前時の Today's sentence の振り返り	□Power Point を使って、テンポ良く現在進行形を声に出して練習することで慣れさせる。 □前回の Today's sentence の生徒の良い英作文をシェアすることで、生徒は自分の英文を振り返る事ができる。また、間違っている英文や、難しい表現をみんなで解決することで、自分たちで問題解決する力を身につける。 ◆誰の作品かな?すごい! ◆これくらいだったら自分でもできそう。	【・知技】 活動観察
展開 (30分)	3 めあて		
	めあて (写真を使って) あなたの身近な文化 (習慣) について紹介しよう		
	4 ペアトーク (1) 使用場面の確認 (2) 例題を練習 (3) ペア活動① 写真の紹介 (4) 共有① 全体でどんな内容がでたか (5) ペア活動② 写真の紹介 (6) 共有② 全体でどんな内容がでたか	□まずはさせてみる。 ◆できなのか、できなかったのかわからない。 □内容を共有することで、「良い内容」「できそうな内容」に目を向ける。 ◆それだったらできそう。 □今回は「言いたかったけど言えなかった表現」を共有。みんなでどう言えばいいのか考える。 ◆なるほど。こう言えばいいのか。 [努力を要する児童生徒への働きかけ] ・ペアの人が教えることも可能。 ・動詞一覧表を使う事を指示。 ・机間巡視でサポートする。	【・知技・思判表・主体的】 活動観察
終末 (10分)	5 まとめ		
	まとめ 文化を紹介する際にはまとめる言葉が大切。		
	6 振り返り Reflection sheet に今日の振り返り、Today's sentence を記入。		【・知技・思判表・主体的】 Reflection sheet にて確認

(4) 板書計画

Day : Monday	Date : December 19 th	Weather : _____	Goal : あなたの身近な文化について紹介しよう
<p>〈復習〉</p> <p>(肯) Tim is playing soccer. (否) Tim is not playing soccer. (疑) Is Time playing soccer? Yes, he is. No he isn't.</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>生徒からでた英文を書いて共有する</p> </div>			